

福井県立大学 2019年度前期 特別企画講座

『福井が育む文学を訪ねる』【全3回】

福井の豊かな自然を原風景に、様々な分野で文学活動を展開している作家がいます。作家達は、自身がつむぐ福井ゆかりの作品を通して、読者に何を伝えようとしているのでしょうか。

作家達との対話・交流を通して作品のポイントや作家の主張に触れながら、私達の故郷福井が育む文学について、参加者皆で考えてみましょう。

【定員】各回30名（対象：高校生・大学生・一般）

【場所】福井県立大学 永平寺キャンパス 地域経済研究所

【共催】NPO法人 農と地域のふれあいネットワーク

コーディネーター	多田 憲市（NPO法人 農と地域のふれあいネットワーク 理事長）	
第1回 【5/25(土)】	文学に見る若狭・越前の民俗世界 【時間】10:00～11:00	金田 久璋 / 民俗学者・詩人 民俗学者の谷川健一に師事し、民俗学を学ぶ。元敦賀短期大学非常勤講師。著書に、『森の神々と民俗』（白水社）、『言問いとことほぎ』（思潮社）、『あどうがたり』（福井新聞社）ほか多数。
	福井の文学者達 ～下からの目線と経験主義～ 【時間】11:00～12:00	定 道明 / 作家・中野重治研究者 中野重治関係の著書として『中野重治私記』（構想社）、『中野重治近景』（思潮社）などがあるほか、『昔日』（河出書房新社）、『外出』（編集工房ノア）ほか著書多数。
第2回 【6/8(土)】	福井ゆかりの詩人たち ～現代における抒情とは～ 【時間】10:00～11:00	川上 明日夫 / 詩人 日本文藝家協会、福井県ふるさと詩人クラブ会員に所属。大阪文学学校講師を務める。詩誌「木立ち」編集人。詩集に、現代詩文庫 192『川上明日夫詩集』、『灰家』、『白骨草』ほか多数。
	ふるさと再発見 ～福井の昔話・伝説の魅力～ 【時間】11:00～12:00	藤井 則行 / 児童文学者 教職に就く傍ら、児童文学の創作と普及を志して今日に至る。ふくい児童文学会代表を務める。童話集『祭りの宵に』や詩集『おしずかに』、編著に『福井の伝説』・『福井の民話』など作品多数。
第3回 【6/15(土)】	「山の文学」 ～福井の自然を眺めて育つということ～ 【時間】10:00～11:00	増永 迪男 / エッセイスト 白山登山により山に親しみ、著書に『夜明けの霧の山』、『春夏秋冬山のぼり』、『雲を見る人 孤高の風景画家 曾宮一念』（福井新聞社）など多数。ふくい風花随筆文化賞 企画審査委員長も務める。
	郷土の歴史発掘に魅せられて 【時間】11:00～12:00	佐々木 正祐 / 郷土作家 財務省退職後、NPO法人事務長を経て大野市役所に勤務。同市商工観光振興課において歴史発掘に携わる。越前大野かたりべの会会長。著書に『百姓が走る』、『箱館戦争始末記・大野藩かく戦えり』など。

参加申込書

所属		代表者	
所在地		TEL	
氏名		参加希望（○を付けて下さい）	
氏名		第1回 ・ 第2回 ・ 第3回	

【問合せ・申込先】福井県立大学（〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1）

交流・研究支援部 連携・研究推進課 担当：松本、白崎

（TEL）：0776-61-6000（代） 内線 1074 （FAX）：0776-61-6011 （E-mail）：openfpu@fpu.ac.jp